



TCE (Total Control of the Epidemic)

-プロジェクト詳細-

1. プロジェクトが語る状況

このプロジェクトは、Narela 工業地域の 60,000 人の移住労働者たち、そして、近隣のコミュニティと村の約 10 万人の人々の生活場所やコミュニティにおいて、活動を行っています。

TCE の活動は、主に各個人の教育を通して行っています。具体的にいうと、人々を何かの特別活動に動員したり、性生活を中心とした日常生活の行為を見直すことを訴えるためのカウンセリングなどです。

具体的な活動目的：

- 1) 不特定多数のセックス・パートナーを減少する。
- 2) 徹底したコンドーム使用の増加の試み—特に、危険な性行動を行う人々によるコンドーム使用の徹底を呼びかける。
- 3) 性感染症クリニックと、VCT (Voluntary Counseling and Testing) センターの紹介を頻繁に行う。
- 4) HIVクリニックの紹介を頻繁に行う。
- 5) ウイルス伝染の減少をはかる。

2. プロジェクトの前後関係

デリーのHIV/AIDS感染率を見たとき、感染率の順位は、州全体から真ん中の下に数えることができます。しかし、私たちは最後の10年にわたって人口が増加していることを考慮しなければなりません。特に主に貧しい移住家族（1991～2001 10年の間の46, 31%成長）がその多くであることは、考慮されなければならぬものです。

デリーの全人口は、2001年3月1日に13, 782, 976に達しました。これは、1平方キロメートルごと、9, 294の密度の割合です。デリーは、HIVの急速な増加の可能性に関して低い流行域であると同時に、大きな危険地域でもあります。



以下に挙げる例は、デリーをHIV/AIDS感染にかかりやすくする要因です：

- 1) 季節的に移動する労働者、ストリートチルドレンや売春労働者の増加、42の移住植民地とスラム人口、首都人口の拡大。
- 2) 約45%の住民は42の移住植民地で生活し、1200のJ.J.が集まります。独身男性の多くは家族から離れて生活をし、女性100に対する男性の人口比は約800です。
- 3) 貧しい生活状況と貧困は、女性を性的搾取の対象にします。
- 4) 50万人のストリートチルドレンは、公共医療を少しも利用できず、大人の搾取、薬物使用その他の理由かHIV/AIDS感染の傾向がみられます。
- 5) ストリートチルドレンの間で、高い性感染症があります。性感染症を患っている多くの男性と女性は、効果的な処置にためらいを感じます。
- 6) 約45,000人の人々は、静脈注射薬を使用しています。

(デリー政府：健康と家族の福祉より)

Narela 工業地域は、2,600の計画を軽工業のために持っています。現在、約1,000の産業が確立され、運営されています。デリーの都市自治体は、町の中心地からNarela 工業地域に他の産業を興すために、焦点をあてました。そのため、この地域は今や急速に成長する産業地域なのです。1,000の産業がそれぞれ30~60人の労働者を雇い、2つのシフト制で分けられています。合計で、40~50,000人の労働者です。

労働力の約90%は、移住労働者です。労働者は、ビハール（約50%）、ウッタル・プラデーシュ（25%）、西部ベンガル（15%）とハリヤナ（10%）出身です。



大部分の労働者には自国に家族と子供たちを残し、年に1度は帰国して家族を訪問します。付近に隣接している村は、Allipur、Hombikala、Bhorgarh、Shapur Tilak、Narela、Swantra Nagarで、それらはNarela 工業地域から5km~8kmの圏内の中に位置します。

1平方キロメートルより少し集中した地域と50,000人の「独身」男性は、性感染症とHIV感染の危険性をとても高いものにします。なぜならば、近隣の村に住む男性の多くは、しばしば部屋を5~8の男性とシェアするからです。シェアをした男性の中には、家族のうちの1人以上の若い女の子を連れてきているときがあります。

3. DI の仕事について



- 1) プロジェクト・リーダーたちの助けをもとに、全ての活動を準備し、実行する。
- 2) フィールド・オフィサー（現地スタッフ）の教育者として、彼らのマニュアル本を熟知する。
- 3) マニュアル本のスペシャル・フォースを熟知する。
- 4) PLWA（Persons living with AIDS）を確認し、フィールド・オフィサーが誰がHIVテストを受けて病院から結果を受け取ったのかを知る手助けを行う。
- 5) 病院、クリニック、政府機関、NACOや他のNGOのからも統計を入手する。
- 6) TCEのフィールド・オフィサーと他のスタッフと一緒に、オープン・サンデーや他のイベントを組織して実行する。
- 7) 地元の協力者、NGO、政府関係者と面会し、彼らが地元地域で精通していることと、TCEの活動に満足していることを確認する。
- 8) パトロールが、活動について良いアイデアを出すのを助ける。
- 9) エイズ感染症を防ぐ戦いにおいてパートナーを特定して、協力のためのとても実用的な実行を交わす。
- 10) TCEの活動地域において、PESを必要なツールとして積極的に促進する。そして、PESの使用に関する重要性をフィールド・オフィサーに伝える。
- 11) パトロール・リーダーが、どのようにマニュアルを利用して独学できるかについて、計画と一緒に立てる。
- 12) PESに集中する運営地域において、TCE集会を実行する。
大規模な動員は、利益を得て、感染地域で一般の認識を上げるために必要なため、このような集会を組織する前に、ディヴィジョン・コマンダーと相談することが求められる。
- 13) フィールド・オフィサーが仕事から戻った夜に、毎日の英語のレッスンをを行う。
- 14) フィールド・オフィサーが、毎年、月、週と日に分けられた計画を立てることを助ける。
- 15) 指定されたフォーマット/ソフトウェアで、フィールド調査を編集する。

4. Specialization as Special Force.

あなたが先に紹介した仕事に対して責任をもつ間、下記の専門についても責任をもちます：

Development Instructor の仕事の詳細		
1	仕事の名前	スペシャル・フォース
2	専門の仕事	健康と福祉
3	仕事について	スペシャル・フォースは、TCE スタッフが政府サービスとプログラムを利用するのを助けます。スペシャル・フォースは、社会と健康問題において TCE スタッフを援助するための、訓練されたカウンセラーです。
4	仕事の場所	インド・デリー TCE プロジェクト
5	直接の監督	専門の上スペシャル・フォース
6	報告	ディヴィジョン・コマンダーへの毎週/毎月の報告

仕事	説明
1 健康診断	新人と先輩の TCE スタッフが、健康診断に行くことを進めてください。医者のアポイントメントが必要なときに、病気の TCE スタッフを援助することになっています。そして、全てのスタッフと一緒にフォローをして下さい。
	全てのスタッフのために、1年間の健康診断を組織します。
	TCE スタッフの医療記録をデータベースを作成し、維持します。
2 カウンセリング	カウンセリングを全ての TCE スタッフに提供します。
	フィールド・オフィサーのコースを実行するとき、フィールド・オフィサーの教育担当と一緒に働きます。
	教育とコミュニティ活動で、PPM とサポート/情熱的なグループと一緒に働きます。ほとんどの間、あなたは TCE のディヴィジョン・コマンダーに、レポートを提出します。
3 TRIO & サポート・グループ	TRIOS を始めるための人々の運動の情熱を助け、コミュニティで TRIOS を維持します。
	HIV 感染者（がいたとして）である TCE スタッフのために、サポート・グループを始めます。
	通常の病院、またはクリニックで PTCT、ARV、VCT を行っている TCE スタッフを援助します。
4 社会福祉	免疫システムを TCE スタッフに管理し、分配します。
	TCE スタッフの速やかな推薦を確実にするために、地元のクリニック、病院、医者、VC のもの、ARV チームと良い接触と協力を確立し、維持します。
	健康と PMTCT、VCT、ARVT を含む福祉問題の最新情報を集めて読み、全スタッフ関係者に伝えます。
5 HIV/AIDS 方針	ディヴィジョンの TCE スタッフのために、HIV/AIDS 方針を実行します。
	国家レベルで HIV/AIDS 方針の発展を試みます。

5. 活動の留意点

- 1) TCE チームの一員であることをよく認識する。
- 2) 重要な決定事を自分で判断するのではなく、毎月のスタッフミーティングで行う。
- 3) ディヴィジョン・コマンダーに毎週／毎月の報告を行う。

6. 報告と記録

Development Instructor としてこのプロジェクトで活動する人は、毎日の活動記録を保ち、ディヴィジョン・コマンダーに提出することを担当します。

また、毎月のレポートは Behror で毎月開かれる Development Instructor 会議において、Development Instructor としてのあなたの評価のために使用されます。この Development Instructor 会議において、あなたは特別なケースで参加することができます。

以上

Humana People to People in India
Project manager TCE
ディヴィジョン・コマンダー
Himanshu Joshi